

TAMOTSU グループ会長 山下健治氏

# 人間愛の尊厳、魂の尊厳を守る 『LABO 棺（金具類及び金釘無し棺）』

金釘を使用する従来の棺による環境問題や火葬場での悲惨な実態を知り、株式会社 e・LABO は遺体の尊厳を守り、環境問題改善や作業効率向上につながる金属類及び金釘を使わない棺『LABO 棺』を開発した。火葬場、葬儀社、故人、遺族すべてが納得できる新しい棺の在り方を普及していきたいという。他業種でありながらこの問題と向き合い、LABO 棺を開発し、普及活動に尽力する株式会社 TAMOTSU グループ会長 山下健治氏に話を伺った。

## 火葬場視察で金釘の問題に直面

環境問題に取り組み HB セラミックスを通して葬儀業界において遺体保存や消臭剤用品を提供するなかで全国 150ヶ所以上の市役所と火葬場の訪問と視察を重ねた。「火葬場に於ける CO<sub>2</sub>、ダイオキシン群類の排出に関係する、納棺時の副葬品、ドライアイス、棺に使用される金具類及び金釘の火葬後の処理問題、火葬炉の損傷等の問題が共通していることが判明しました。さらに火葬炉の視察時、火葬中に金釘等が肉体や遺骨に刺さる悲惨な状況や火葬後に残る無数の金属類を目にして強く心を痛めました」

火葬後に残った金属類は処理業者によって仕分け整理される。火葬場は金属類による配管の損傷にも大きな問題を抱えていた。「土葬から火葬に代わり長い年月が経っているのにも関わらず、何故このような事実が知られていないのか。多くの疑問を覚えました。この実態を知ったからにはなんとかしなくては行けない。そこで、環境改善をはじめ火葬業務の合理化と遺体の尊厳を守るため、従来型の棺の調査と金釘を使わない棺の開発及び普及活動をはじめました。この活動は私にとって利益ではなく、使命であり大義と考えています」

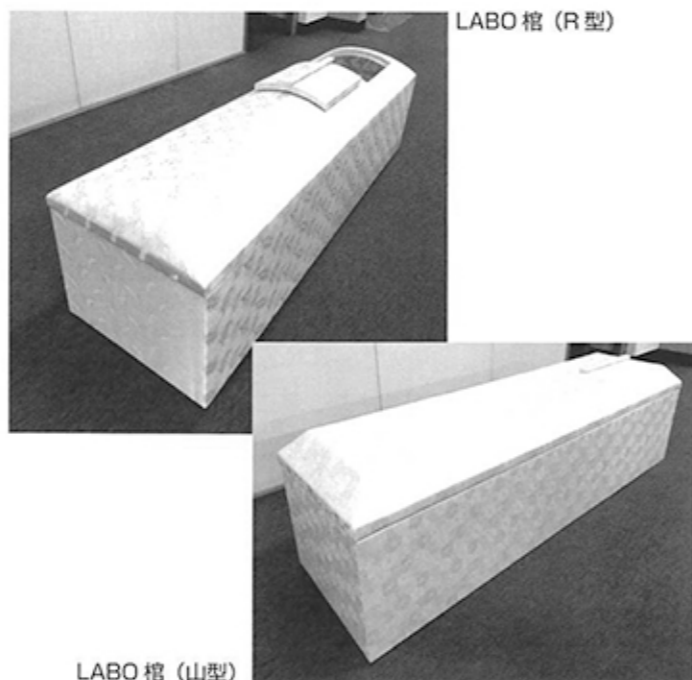
## 棺の調査と LABO 棺の開発

「現在使用されている棺を数十本手配し解体調査したところ、一つの棺に使用される金具類（タッカー

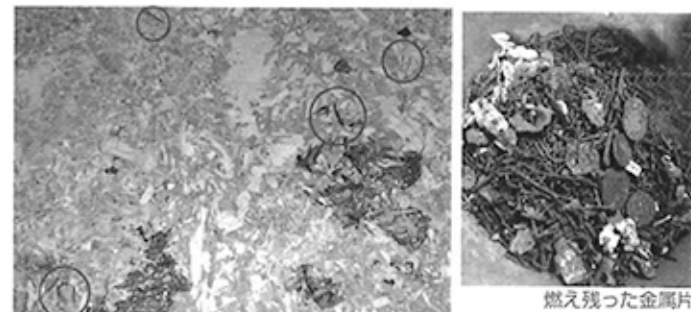
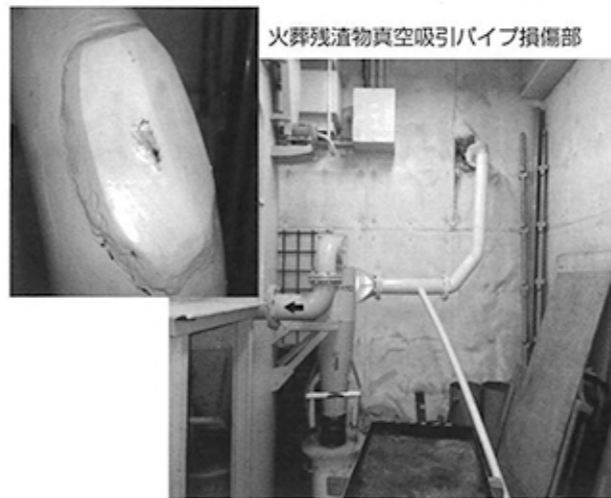
針・飾り金具・金釘）は平均 200 本前後。（金釘 45～60 本・タッカー針 45～50 本・ピンタッカー 8～12 本・飾り金具 6～10 個）年間で約 221 トン以上の金属類が廃棄されていることが判明しました。金属類を使用しない LABO 棺は宮大工の技術などを駆使して開発しています。LABO 棺は金具類及び金釘を一切使用せず、霊柩車や火葬炉への移動も円滑にできる構造になっています。

持続荷重試験 180kg（福岡県工業技術センター）の試験もクリアしています」

賛同を得た葬儀社や各種団体からの支持もあり、昨年には金具類及び金釘無し棺の特許を取得。2019 年 8 月以降に販売開始を予定している。



LABO 棺 (山型)



火葬後の収骨前の状態。○印で囲んだ部分に燃え残った金属片が見られます

## 多くの承認と称賛の声

金釘を使用しない LABO 棺の普及計画に伴い、葬儀社や火葬場、処理業者へ訪問した。「当初は難航しましたが、従来の棺の抱える問題と火葬場での現状を伝え続けて人から人へ輪が広がり、次第に多くの協賛を得ることができました。実際に棺をお客様に販売している多くの葬儀社は火葬場や棺の問題を知らないことも判明。また、ある団体は老人ホーム慰問の際に LABO 棺の話をしたところ、みなさんが涙を流して販売を心待ちにされているという話を耳にしました。今年になって LABO 棺の情報を得たご家族の方から連絡があり、親の葬儀に LABO 棺を使用したいと強い要望がありましたが、手配が間に合わず、結局火葬直前に火葬炉の前でご遺体を一般の棺から LABO 棺に移しかえて火葬を行いご家族の方々からとても喜ばれ、感謝と御礼の言葉をいただいたという報告もありました」

環境問題への貢献及び、火葬場の作業効率改善、遺族から感謝もあり、LABO 棺はいま多くの称賛と支持を得ている。

時代とともに変わりゆく葬送文化において、業界はいかに尊厳を守り、葬送文化を継承していくかが課題となっている。価格競争に奮闘し、サービスの表面的な変化ばかりに目を向けては物事の本質を見落としてしまうこともある。向き合うべき問題に目を背けず、はじめの一步を踏み出した e・LABO 社は業界の未来に変化と新たな刺激を与えてくれるのではないだろうか。今後の活動にも是非注目していきたい。（加納沙樹）

## 北川正人先生 （東京農業大学客員教授）の推薦文

「LABO 棺」の開発者である山下会長との出会いには不思議なご縁を感じております。技術者で、発明家で有る彼は、小型風力発電機をはじめ様々な発明品について技術評価の相談に度々弊社にいられて居りました。その彼が、私の使命だと「LABO 棺」の開発に至った経緯を熱く語ってくれたのが一昨年の秋です。彼の強い信念である、ご遺体の尊厳と生命の尊厳を厳守する「大義」「志」の熱意に感動致し、私も初めて葬儀業界の現状に関心を抱きました。更に今後、葬儀業界各位のご協力を得て「LABO 棺」の普及により、そこから得られる資金を社団法人の基金として活用し、国内の自然災害による被災者への援助、福祉施設等への援助活動を行うと言うお考えに共感しましたので、今後山下様の活動を支援し協力していきたいと思っております。

### 北川正人先生 経歴

慶應義塾大学法学部卒  
元 千代田化工建設株式会社 代表取締役社長  
元 経済団体連合会 中近東部会長  
元 米国バージニア大学国際経済学 教授  
現 経済同友倶楽部会 海外事情調査会世話人  
現 東京農業大学客員教授  
現 ㈱ソリューションズ・アイズ・イニシャティブ 代表取締役